

「原子炉建屋内の遠隔除染技術の開発」
1～3号機 原子炉建屋1階 高所部の
汚染状況調査の実施について
(ガンマカメラによる調査)

2014年5月8日
東京電力株式会社



東京電力

IRID

本資料の内容においては、技術研究組合国際廃炉研究開発機構（IRID）の成果を活用しております。

1. 高所部調査の目的と実施概要

■ 目的および実施概要

- 1～3号機原子炉建屋1階の高所（高さ4m程度）でガンマカメラによる撮像を行い、線量率への寄与が大きい箇所（ホットスポット）の有無の確認と、ホットスポットがある場合は強度を評価した上で、除染・遮蔽・撤去の検討を行う。

■ 調査装置概要

ガンマカメラ（NEDO開発品、1号機南側線量調査で使用）を搭載した「かにクレーン」（昇降装置）を使用し、遠隔にて実施する。



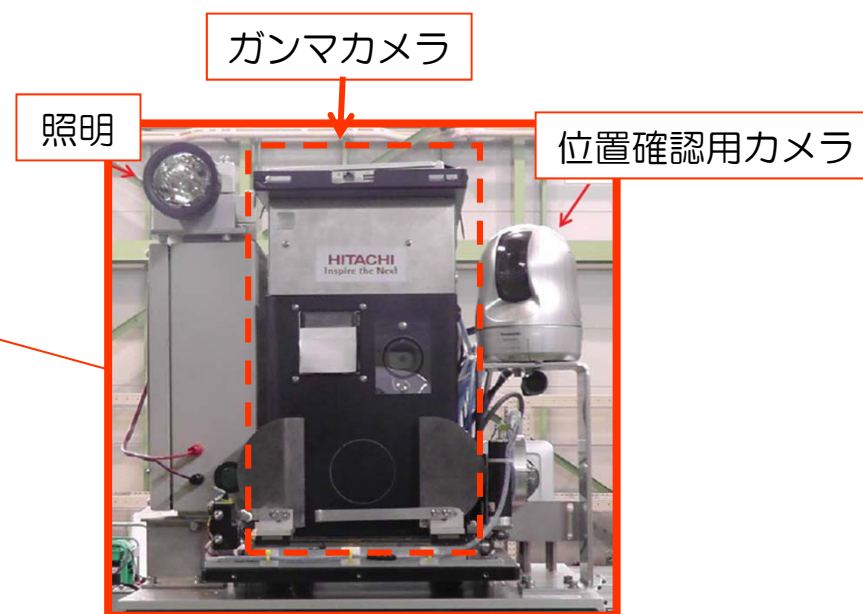
かにクレーン

寸法：2360mm×700mm×1430mm
（走行姿勢時、ガンマカメラ含む）

質量：約1250kg 最高速度：1.5km/h



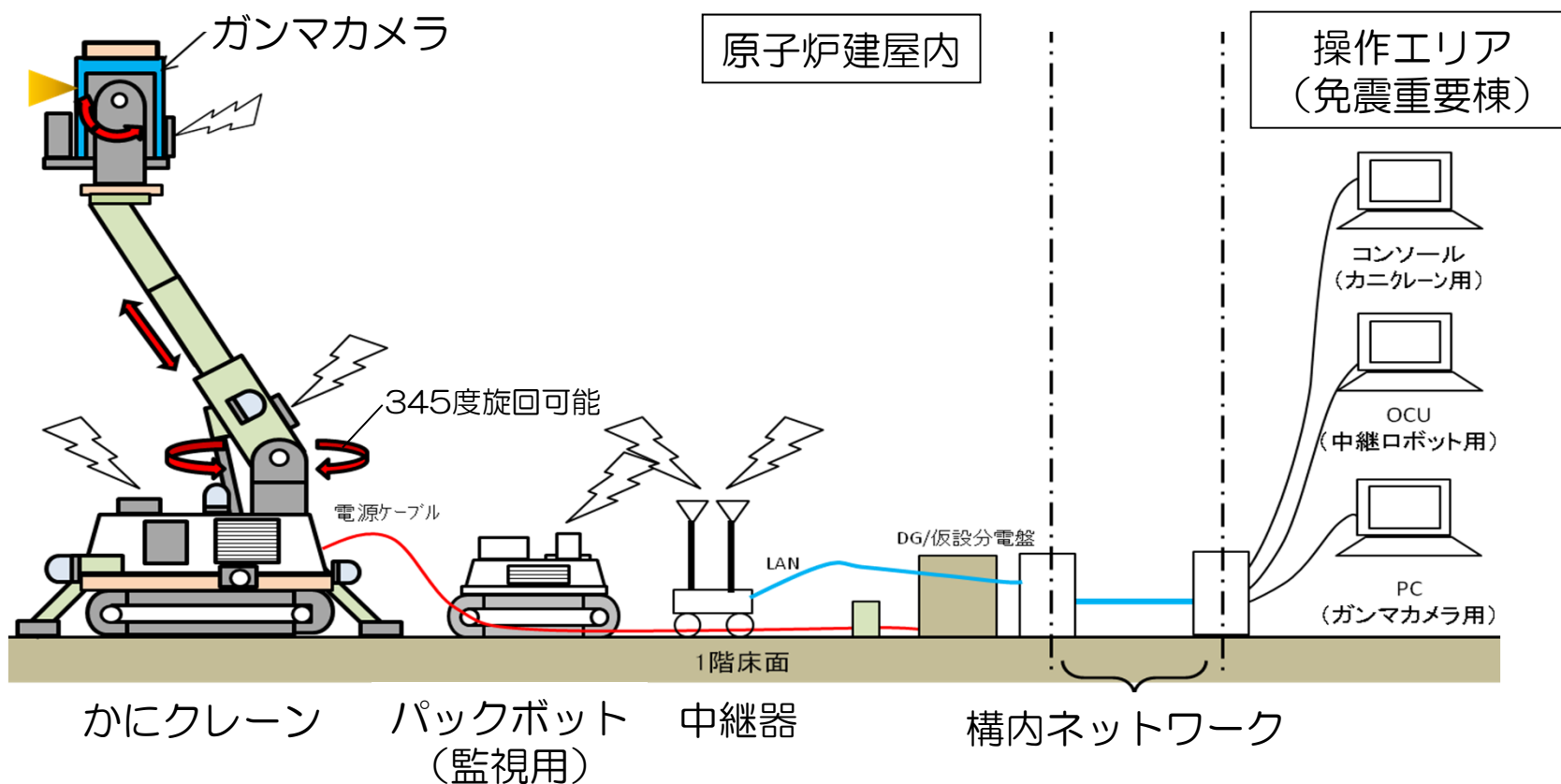
東京電力



ガンマカメラ搭載部(A矢視)

2. 調査装置構成

- かにクレーン，バックボット共に免震重要棟から遠隔操作する。通信形式は，中継器（有線）を介した無線。
- バックボットは、かにクレーンの監視用として使用する。
- ガンマカメラの撮像方向は水平方向に345度回転可能（アームの水平方向の旋回による）。





線量測定システム構成および装置

3. スケジュール

1～3号機 1階高所部調査

	4月	5月			6月		
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
準備作業・通信確認							
1号機調査							
		1号機調査は5/9開始					
2号機調査							
3号機調査							
片付け							

凡例  : 準備片付け作業  : 現場調査



- 分析／評価結果については、1号機および3号機除染計画策定に活用する。また、既に除染工事に着手している2号機については、必要に応じて除染計画の見直しを行う。